

★ デイジー図書案内 ★ 令和2年4月～令和3年3月

番号	書名	著者	分野
1	いい感じの石ころを拾いに	宮田 珠己	岩石
北海道から離島まで、ただただ海辺にしゃがみこんで“なんてことない石ころ”を拾いつづけた紀行エッセイ。			
2	生きづらいこの世界で、アメリカ文学を読もう	堀内 正規	海外文学
強く生きなくていい。でもそれではどう生きればいい？生きづらいこの世界で読みたいアメリカ文学13編を紹介。			
3	いとなむはたらく飯田のあゆみ	飯田市歴史研究所	郷土
飯田の経済・産業・農業・災害の歴史や、合併における変遷をデータと共に網羅的に解説。			
4	いま書き残す和合の人々	宮下 金善	郷土
「和合の念仏踊り」で有名な阿南町の和合。昔のことから、今の暮らしまでが丁寧に描く。			
5	ウィズ・ユー	濱野 京子	小説
朱音が、病気の母親の介護や幼い妹の世話、家事をひとりで背負う“ヤングケアラー”であることを知った悠人は、彼女の力になりたいと考えるようになる。			
6	ウースター家の掟	P. G. ウッドハウス	海外文学
ありとあらゆる難問を解決し続ける天才執事ジーヴス、今回のお手並みはいかに。			

番号	書名	著者	分野
7	英国のスパイ	ダニエル・シルヴァ	海外文学
英国の元皇太子妃の乗ったヨットが爆発炎上した。事件解決のため、ガブリエルは犯人の足取りを追い、ヨーロッパ各地へとぶ。			
8	エール 上・下	清水 友佳子 嶋田 うれ葉 吉田 照幸	小説
「栄冠は君に輝く」「長崎の鐘」で知られる作曲家の古関裕而と、行動力にあふれる明るい妻が織りなす、波乱万丈な物語。			
9	NHK全国俳句大会入選作品集 第2 1回	NHK全国俳句大会事務局	詩歌
題詠「大」と自由題あわせて、41,107句。13名の選者に選ばれた入賞・入選作品集。			
10	大きな字で書くこと	加藤 典洋	随筆
私は誰か。何がその問いの答えなのか。大きな字で書いてみると、何が書けるのか。急逝した文芸評論家が残した最後の言葉。			
11	おこん春暦	佐伯 泰英	小説
父と暮らす14歳のおこんのもとに、訳ありの侍・曾我蔵之助夫婦が幼子を連れて流れ着く。若き日のおこんを描く小説2編。			
12	大人の流儀 9	伊集院 静	随筆
ひとりで生きることは、一見淋しいものに思えるが、実は美しい人間の姿なのかもしれない。日々の思いをつづったエッセイ集。			

番号	書名	著者	分野
13	汚名 上・下	マイクル・コ ナリー	海外文学
刑事ボッシュは、30年ほど前に逮捕した死刑囚連続殺人犯ボーダーズの再審を耳にする。			
14	女たちのシベリア抑留	小柳 ちひろ	歴史
第二次世界大戦終結後、千人近い女性がシベリアで収容所生活を送った。捕虜だった女性たちが初めて証言したノンフィクション。			
15	隠れ家の女	ダン・フェス パーマン	海外文学
工員たちの会話を録音してしまったCIA女性職員ヘレン。冷戦下のベルリンと現代アメリカが舞台のスパイ小説。			
16	風越山物語	平沢 忠明	郷土
風越山を文学の面から紐解き、信仰の山としての歴史を解説し、いかに市民に愛され、生活に根ざしているかが語られる。			
17	かぼちゃの花が咲きました	吉川 允子	郷土
飯田市歴史研究所の「自分史ゼミ」に参加した上郷在住の作者が、幼い頃からの体験を記す。			
18	カントリーノート	宮原 達明	随筆
若いころには見えなかったことや、時の流れを越えた伝統的なものの良さなど、豊かな老後のヒントになるエッセイ集。			

番号	書名	著者	分野
19	黄犬交遊抄	ドナルド・キーン	随筆
<p>著作活動や訳業を通じて日本文学を世界に紹介し続けたドナルド・キーン。三島由紀夫、阿部公房ら日本を代表する知性との交遊を軸に96年の美しい生涯を、エッセイ・講演録で振り返る。</p>			
20	9条を活かす日本	伊藤 千尋	憲法
<p>戦後70年以上にわたって繁栄をもたらした平和憲法が踏みにじられようとしている。安倍政権の改憲の野望を打ち砕く、様々な力を語る。</p>			
21	極夜行前	角幡 唯介	紀行
<p>前作『極夜行』。天測を学び、犬を育て、海象に襲われた。すべては「極夜行」のためだった。完結までの3年間に何があったか。極夜の北極圏を探検した著者が、そのスリリングなプロセスを綴る。</p>			
22	霧の中の巨人	梓 林太郎	日本文学史
<p>約20年間、松本清張と親交を結び、作品のヒントを提供した著者が、その年月を自らの生活と絡み合わせて綴る。</p>			
23	雲・山・太陽	串田 孫一	随筆
<p>哲学者・詩人・登山家である、串田孫一の著作の中から山や旅、自然をテーマにしたものを選んでまとめた随筆集。</p>			
24	倉敷高梁川の殺意	梓 林太郎	小説
<p>旅行作家の茶屋次郎が、連続して発生した事件の謎を追って旅情溢れる倉敷へ飛んだ！</p>			

番号	書名	著者	分野
25	木枯し紋次郎 1・4	笹沢 左保	小説
上州の貧農に生まれ、10歳で家を出て、世間に背を向け諸国をさすらう、孤独な旅鴉。人呼んで、木枯し紋次郎。			
26	最後の一文	半沢 幹一	書評
主に近代以降の日本の短編小説で学校教科書に載っているものを取り上げ、最後の一文を紹介。名作の終わりの謎を解く。			
27	「作家」と「魔女」の集まっちゃった思い出	角野 栄子	小説
国民的人気作「魔女の宅急便」を生み出した作家が、優しさとユーモアにあふれる日々を綴ったエッセイ集。			
28	作家の猫	コロナ・ブックス編集部	随筆
猫を愛した作家と作家に愛され、描かれた猫たちのアルバム。29人の作家とそれぞれの猫との関りを描く。			
29	殺戮にいたる病	我孫子 武丸	小説
異常犯罪者の心の軌跡をたどりながら、想像力の欠如した現代人の病巣を抉る衝撃のサイコ・ホラー。			
30	ザ・フォックス	フレデリック・フォーサイ	海外文学
英国の特殊部隊がとらえたハッカー、暗号名はフォックス。			

番号	書名	著者	分野
31	サンキュー、ジーヴス	P. G. ウッドハウス	海外文学
ぐうたらなダメ男の若旦那パーティーと、天才執事ジーヴスの物語。ジーヴスに辞められて新たな執事を雇い入れるが…？			
32	シニアパッカー世界遺産の旅	山崎 喜世雄	紀行
還暦をとっくに過ぎたオヤジが2人、西アジアの世界遺産を訪ねる旅に出た。イランとトルコをまたいで4,000キロの旅を、それぞれの視点で記す。			
33	島の秋	吉田 絃二郎	小説
島の鉱山の親方夫婦とその弟子の清作との気持ちの交流を描く。			
34	下伊那のなかの満洲 10	満蒙開拓を語りつぐ会	郷土
満洲に渡った開拓団員や青少年義勇軍等関係者から、生い立ちから現在に至るまでの記憶を聞き取る。			
35	「生類憐みの令」の真実	仁科 邦男	歴史
徳川5代将軍綱吉は生類憐みの令を出し、あらゆる動物への慈愛を強要した。なぜそこまで過剰な行為に走ったのか。綱吉の心の闇に迫る。			
36	新解釈現代語訳法華経	石原 慎太郎	経典
数千年もの昔、お釈迦様が自ら実践し、人々に説いた最高の教え「法華経」。28品からなる全文を、石原慎太郎が独自の解釈により現代語で完訳した、法華経を物語を読むように理解できる入門書。			

番号	書名	著者	分野
37	新・酔いどれ小籐次	佐伯 泰英	小説
<p>脱藩し研ぎ仕事で稼ぎながら長屋に暮らす赤目小籐次。長屋の元差配・新兵衛が消え、養子・駿太郎らが拐しにあった。小籐次は拐しに係わった阿久津家の謎に迫る。</p>			
38	新 吉原裏同心抄 2	佐伯 泰英	小説
<p>京での修業先が決まった幹次郎と麻。不審な殺人について探るよう依頼された幹次郎は、正体の見えぬ強敵に立ち向かうことに。</p>			
39	素晴らしき世界 上	マイクル・コ ナリー	海外文学
<p>女性刑事バラードが出会ったのは、ロス市警を引退したボッシュ。彼は未解決事件の記録を内密に調べていて…。</p>			
40	諏訪の神さまが気になるの	北沢 房子	郷土
<p>信州の諏訪大社を中心に、全国に1万余の分社を持つとされる諏訪信仰。人気の秘密を探る。</p>			
41	世紀の落球	澤宮 優	伝記
<p>大試合や大事な場面で落球した野球選手たち。たった1つのプレーで人生を狂わされた男たちの「その後」を追う。</p>			
42	世界はたくさん、人類はみな他人	本橋 成一	随筆
<p>「いのちを見つめること」を作品の根底に据え続けてきた著者初のエッセイ集。『信濃毎日新聞』連載に加筆修正し書籍化。</p>			

番号	書名	著者	分野
43	戦国の教科書	天野 純希	小説
あの極悪武将は、実は「いい奴」だった？ 歴史時代小説界を代表する6人の作家が綴った短編集。			
44	繊細すぎてしんどいあなたへ	串崎 真志	精神衛生
怒っている人が怖い、匂いや音に敏感…。これらの背景にある繊細すぎる性格(HSP)を長所として活かす方法をアドバイスする。			
45	そうだったのか！日本現代史	池上 彰	社会
誰でも知っている最近の事件から、日本の現代史をわかりやすくさかのぼることができます。			
46	蓼食う人々	遠藤 ケイ	食生活
野兔やカラス、鮎、山椒魚、イナゴなど、かつて私たちが享受した自然の恵みと原風景の記録と考察。			
47	探検家とペネロペちゃん	角幡 唯介	育児
成長し、言葉を獲得していくペネロペが、どのような未知を探検しているのか。探検家の著者がつづる娘の観察記。			
48	つりが好き	井伏 鱒二 ほか	随筆
井伏鱒二、桂歌丸、幸田露伴、開高健など釣りを楽しむ24人の作家たちの傑作アンソロジー。			

番号	書名	著者	分野
49	天皇制ってなんだろう？	宇都宮 健児	社会
生前退位ってどんな意味があるの？私と天皇制ってどんな関係？ 弁護士の著者が、天皇制について法律家の視点から考える。			
50	桃紅百年	篠田 桃紅	芸術
世界的芸術家・篠田桃紅が、さまざまな事柄について綴る。1979 年から2012年までに寄稿した文章ならびに著作に収録された文章 を選び構成。			
51	南西の風やや強く	吉野 万理子	小説
夏の夜、思いがけない出会いが中学受験を控えていた伊吹を変え ていき…。2人の少年と1人の少女の海辺の青春グラフィティ。			
52	二階堂家の兄嫁	葉月 奏太	小説
兄急死の報を受けて二階堂亮平は郷里に戻る。出迎えた美しい兄 嫁に亮平はひとめで惹かれる。書き下ろし長編禁断エロス。			
53	母の落書き	井原 修	郷土
裏町文庫藤吾堂を営む著者の4冊目の句集。南信州新聞掲載のコ ラムも掲載。			
54	秘境遠山郷に行く	磯前 睦子	郷土
長野県の東南の端に位置し、「隔絶山村」とも呼ばれる遠山郷。 取材や様々な人々との出会いを通して秘境遠山郷を語る。			

番号	書名	著者	分野
55	ひぐらし先生、俳句おしえてください。	堀本 裕樹	詩歌
約120句の俳句を散りばめ、具体的な句をもとに、季語や切字、表現上の様々な言葉を解説する。			
56	羊の告解	いとう みく	小説
いつもと同じ朝、中学3年生の涼平の父が殺人容疑で逮捕され、突如、加害者家族となって生活が一変する。涼平は父と同じ加害者なのか、それとも被害者なのか。			
57	副市長室から	佐藤 健	郷土
現飯田市長の著者が副市長時代に職員に宛てて掲示板に掲載していた「お手紙」をまとめたもの。			
58	文庫本宝船	坪内 祐三	書評
登場冊数300超。ジャンルを横断し、読みどころを鋭く解き明かす、全方位的文庫本ガイド。			
59	まだ見ぬあの地へ	近藤 雄生	紀行
気鋭のノンフィクションライターによる、旅と人生をめぐる断想集。「旅の力」に思いを巡らせる。			

番号	書名	著者	分野
60	「学びの公共空間」としての 公民館	佐藤 一子	社会
世界的潮流のなかで、最先端の活動に取り組む事例も紹介しながら、古くて新しい「学びの公共空間」像を公民館の歴史から紐解く。公民館という存在の役割と可能性。			
61	ママナラナイ	井上 荒野	小説
この世に生を享け、大人になり、やがて老いるまで- 。ままならぬ心と体を描いた美しくも不穏な、極上の物語。全10 編を収録。			
62	ミスコン女王が殺された	ジャナ・デリ オン	海外文学
元ミスコン女王パンジーが殺された。疑われたフォーチュンは、 地元婦人会の老婦人コンビと真犯人捜しに乗り出すが…。			
63	水引のまち 飯田	吉田 忠正	郷土
飯田市歴史研究所 ジュニア・ライブラリーシリーズ。和紙や元 結の歴史、水引の製造方法・加工品などについて分かりやすくま とめる。			
64	向田理髪店	奥田 英朗	小説
北海道の寂れた炭鉱町を舞台に、町のさまざまな騒動と人間模様 を温かくユーモラスに描く連作集。			
65	息子たちよ	北上 次郎	随筆
すべての親と、かつての子どもたちに贈る家族エッセイ。			

番号	書名	著者	分野
66	「郵便局」が破綻する	荻原 博子	社会
名ばかりの「郵政民営化」で収益もコンプライアンスも悪化した郵便局。破綻の衝撃からどのように身を守るべきかを示す。			
67	吉原裏同心抄 6	佐伯 泰英	小説
吉原会所の次期頭取候補と目される神守幹次郎を狙う刺客。吉原百年の計を思い、幹次郎の打つ、新たな布石とは？			
68	読むラジオ坂ちゃんのずくだせえぶり ぶりでい 続	坂橋 克明	郷土
SBCラジオ「坂ちゃんのずくだせえぶり ぶりでい」のパーソナリティ・坂橋克明が、番組冒頭で話したことをまとめる。			
69	龍峡小唄ものがたり	牧内 雪彦	郷土
昭和初期から中期にかけて、「郷土に新しい民謡を」という夢の実現のために奔走した牧内武司の人生を辿った一冊。			
70	竜馬にであった少年	いぶき 彰吾	小説
不登校の少年竜也は、思い詰めて橋から身を投げる。すると、少年の体はゆっくりと空に舞い上がり、幕末の京都に降り立つ。			
71	リンゴの木の神さま	笠原 正雄	小説
子どもたちが大切に育ててきたリンゴが盗まれた。とったのは誰？神さま？わんぱく少年たちの不思議な大冒険。			
72	流人道中記 上	浅田 次郎	小説
蝦夷へと流罪になった旗本の青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気があった。			

番号	書名	著者	分野
73	レイトショー 上・下	マイクル・コ ナリー	海外文学
上司と諍いを起こし左遷された深夜勤務シフトの刑事、レネイ・バラード。制約のある中、使命を果たそうと苦闘するが…。			
74	連続殺人鬼カエル男	中山 七里	小説
連続して発生する猟奇的な殺人事件。無秩序に猟奇的な殺人を続けるカエル男の正体とは？			
75	私が作家になった理由(わけ)	阿刀田 高	随筆
作家の阿刀田高が2017年から2018年にかけて新聞に連載したコラムから選んでまとめられた作品。			
76	わたしたちの飯田線	吉田 忠正	郷土
飯田線の成り立ちや難工事の様子、活躍した電車などについてまとめられ、楽しんで飯田線の魅力に触れられる1冊。			